

2019年5月7日

各位

オリックス株式会社
(コード番号：8591)

2019年3月期の剰余金配当および2020年3月期の配当予想（中間配当）について

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2019年3月31日を基準日とする剰余金の配当予定額を決議しましたのでお知らせします。本件は、当期（2019年3月期）にかかる計算書類の法定監査を経て、2019年5月22日に開催される取締役会において正式に決定される予定です。

また、2020年3月期の配当予想（中間配当）について、下記の通りとしますので、あわせてお知らせします。

記

1. 配当の内容（2019年3月期）

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2018年3月期)
基準日	2019年3月31日	2019年3月31日	2018年3月31日
1株当たり配当金 (年間配当額)	46円00銭 (76円00銭)	46円00銭 (76円00銭)	39円00銭 (66円00銭)
配当金の総額 (年間合計額)	58,962百万円 (97,415百万円)	—	49,984百万円 (84,579百万円)
効力発生日	2019年6月3日	—	2018年6月5日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 利益配分に関する基本方針

当社は、事業活動で得られた利益を主に内部留保として確保し、事業基盤の強化や成長のための投資に活用することにより株主価値の増大に努めてまいります。同時に、業績を反映した安定的かつ継続的な配当を実施します。また、自己株式取得については、必要な内部留保の水準を考慮しつつ、経営環境の変化、株価の動向、財務状況および目標とする経営指標などを勘案のうえ、弾力的・機動的に対処してまいります。

これらの基本方針のもと、配当性向を27%から30%に引き上げ、1株当たりの年間配当金については、前期の66.00円から当期は76.00円（中間配当金は支払済みの30.00円、期末配当金は46.00円）とします。

3. 2020年3月期配当予想（中間配当）

2020年3月期の配当の決定にあたっては、利益成長に向けた積極的な投資機会の獲得と安定的かつ継続的な配当との最適なバランスを重視し、通期の配当性向は30%を目安としています。2020年3月期の中間配当金については、1株当たり35.00円の予想とします。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
配当予想	35.00円	—	—

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
グループ広報部 長谷川・前田・角谷 TEL：03-3435-3167